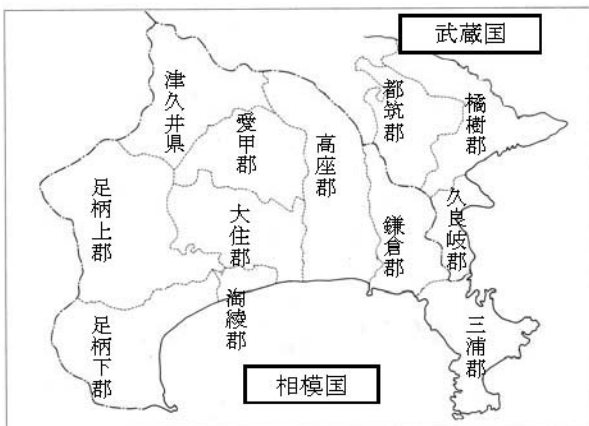


神奈川県域の古代郡名と式内社

平安時代中期、承平年間（931-938）に源順が編纂した『和名類聚抄』（『倭名類聚鈔』『和名抄』）二十巻本の国郡部には、各国の郡名、郷名が記載されている。現在の神奈川県域に当たる武蔵国の南部3郡及び相模国の8郡の名称と読み（万葉仮名）は次のとおりである。なお、平仮名の読みは『神奈川県の名地名』（平凡社）等をもとに補ったものである。

武蔵国 久良（久良岐くらき） 都筑（豆々岐つづき） 橘樹（太知波奈たちばな）
相模国 足上（足辛乃加美あしのかみ） 足下（准上＝上に准ずあしのしも）
 余綾（与呂岐よろき） 大住（於保須美おおすみ） 愛甲（阿由加波あゆかわ）
 高座（太加久良たかくら） 鎌倉（加末久良かまくら） 御浦（美宇良みうら）

その後、中世戦国期に津久井領が成立し、近世には右図のように武蔵国3郡、相模国8郡1県が本県域を構成した。なお、表記や読みも一部の郡で変化している。久良→久良岐、足上→足柄上、足下→足柄下、余綾→淘綾（ゆるぎ）、愛甲（あいこう）、高座（こうざ）、御浦→三浦などの例がある。



平安時代延喜年間に着手され、延長5年（927）に完成した『延喜式』神名帳に記載の神社（式内社）は、下記のとおり武蔵国の神奈川県域に1社、相模国には13社を数える。一覧に読みと現在の鎮座地を付記したが、読み・鎮座地には異説もある。

都筑郡 杉山神社（すぎやま）＊横浜市に伝承地多数あり不詳
足上郡 寒田神社（さむた） 足柄上郡松田町惣領1767
余綾郡 川匂神社（かわわ） 中郡二宮町山西2122 相模国二ノ宮
大住郡 前鳥神社（さきとり） 平塚市四之宮4-14-26 相模国四ノ宮
 高部屋神社（たかべや） 伊勢原市下糟屋2202
 比比多神社（ひびた） 伊勢原市三ノ宮1472 相模国三ノ宮
 阿夫利神社（あふり） 伊勢原市大山355
愛甲郡 小野神社（おの） 厚木市小野428
高座郡 大庭神社（おおば） 藤沢市稲荷997
 深見神社（ふかみ） 大和市深見3367
 宇都母知神社（うつもち） 藤沢市打戻3012
 寒川神社（さむかわ） 高座郡寒川町宮山3916 相模国一ノ宮
 有鹿神社（あるか） 海老名市上郷2791
石楯尾神社（いわたてお）＊県央地域に伝承地多数あり不詳